

商売繁盛を祈って



雪が残り冷え込んだ1月10日、池田町のえびす神社と、井川町の今宮神社において、商売繁盛を祈るえびす祭りが開かれました。

不況のなか、真剣に参拝をする皆さんの商店主らで賑わいました。参拝客は販売所で縁起物の飾りがついた福笹や熊手を買い求め、商売繁盛や家内安全を祈願しました。どちらのえびす祭りでも神事が行われた後、福投げが行われました。他にも買い物をした方を対象にした福引やぜんざいの振る舞いなども行われました。

懸命のたすきリレー



第55回徳島駅伝が1月4日から6日まで、15郡市が県内一周コース(46区間281.9キロ)での熱戦を繰り広げられました。3日間にわたり、三好市チームも懸命のたすきリレーが展開されました。

三好市は競技人口が少なく、高校にも陸上部がないためチーム編成が非常に厳しかったのですが、個人が日々の練習を重ね全46区間を走り抜きました。総合成績は14位に終わりましたが、選手達は健闘し、今後の活躍に期待が持てる3日間でした。

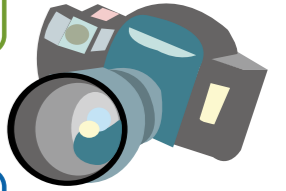
居住して初めてのお正月



三野町にある滞在型市民農園「三好タウン愉流里」において昨年末、入居者ら35人がここで初めてのお正月を迎えるということで、餅つきやそば打ちを体験しました。

都市部からの移住者が多いこの住民にとって、ほとんどの方が初めての体験で、地域の方らにお手伝いしてもらいました。入居者の方は「思ったよりも大変だけど楽しい」とおっしゃっておられ、自分達で作ったつきたてのお餅やおそばはとても美味しいと、舌鼓を打っていました。

まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、
どんなことでもいいので耳より
な情報をお知らせください。

三好市役所 秘書広報課
☎0883-72-7646

市民の期待に応えます

三好市の出初め式が1月11日、三好市池田総合体育館で行われました。48分団779人が参加しました。俵徹太郎市長が「三好市は広大な行政面積のうえ複雑な地形。地域防災力の強化に努めてください」とあいさつし、岸上清連合消防団長が「技量向上に励み、地域の安全に尽力してほしい」などと訓示し、万歳と火の用心を三唱しました。

また、池田町消防団第1分団が諏訪公園(池田町ウエノ)で、約110年の伝統を持つという「樽回し」を披露。防火ずきんと法被に身を包んだ団員6人が3人ずつ二手に分かれて同時に放水すると、縄で縛った2つの樽が豪快に回りながら立ち上がりました。華麗な樽回しの技に見物客から盛んな歓声と拍手が送られました。



鬼はそと 福はうち



1月26日、三好市保健センターで親子ふれあい教室が開催されました。ここでは池田町と山城町の保育所に通わない在宅の親子らを対象に催しを定期的に行っていますが、今回は節分が近いということで、25組の親子が鬼のお面作りや豆まきを行いました。お面づくりでは、かわいい鬼、こわい鬼、子どもたちの個性あふれる様々なお面ができあがりました。

他にも、親子体操や絵本の読み聞かせ、栄養士さん手作りのお菓子が用意されたりしました。

好天の下 健脚を競う



1月23日、第3回三好地区中学校新人駅伝大会が、吉野川運動公園の周回コースで開催されました。

三好地区の中学校から9チームが出場したこの大会は、男子5区(1区3.2km、2区以降2.4km)、女子4区(1区2.4km、2区以降1.8km)で健脚が競われ、男子の部は三好中学校が、女子の部は池田中学校が優勝しました。またこの日は、個人の部としてオープンクラスのレースも行われ、出場者全員が歯を食いしばって走り抜きました。

詐欺にはだまされません



110番の日である1月10日、三好市池田老人福祉センターにおいて、中西地区の高齢者を対象とした防犯教室が行われ、約80の方が熱心に耳を傾けました。

まず最初に、三好警察署の方より110番通報のかけかたの説明があり、ファックスやメールでの通報の仕方も紹介されました。その後、振り込み詐欺の手口を署員が寸劇で紹介し、実際に参加者は犯人役の署員を相手に、不審な電話がかかってきた際の対応方法を学びました。

ゲレンデに元気な歓声



井川スキー場腕山で2月1日、第22回ふれあい雪まつりin腕山が開かれました。さまざまなゲームや景品が用意され、県内外から家族連れら約1,300人が訪れました。

子どもたちは、ちびっこそりレースや宝探しもあり、大はしゃぎで雪上を駆け回っていました。他にも、申告タイムにいかに近いスピードで滑るかを競うタイムレースや、ゲレンデ内に隠されたカードで抽選ができたり、リフトチケット購入者限定の抽選会も行われ、賑やかな1日でした。

白熱した試合を展開



第5回国際雪合戦四国大会が1月24・25日、いやしの温泉郷グラウンド(東祖谷菅生)において雪が降るなか開かれました。試合は、それぞれ90個の持ち球でより多くの敵選手に当てるか、相手陣内のフラッグを奪えば勝ち。白熱したプレーのたびに、会場から歓声が沸き起こっていました。

一般の部はかにくい隊(三好市)、ジュニアの部はチームhanzan(香川県丸亀市)が優勝。かにくい隊は、北海道で開かれる全国大会に四国代表として出場します。